＊＊＊お客さまへ＊＊＊

お手元にある取扱説明書(ＦＩＲ－２０１Ｈ－Ｈ)は，以下の点が追記されていません。
製品(ＦＩＲ－２０１Ｈ－Ｈ)を使用する時は，取扱説明書“ ＦＩＲ－２０１Ｈ－Ｈ ”と本挿入用紙(№KS99008J1)を併せてお読みください。

[補助機能設定モード２の追加]

警報１(A1)動作励磁／非励磁選択[A1LM]，警報２(A2)動作励磁／非励磁選択[A2LM]，警報３(A3)動作励磁／非励磁選択[A3LM]，警報１(A1)動作遅延タイマ設定[A1dY]，警報２(A2)動作遅延タイマ設定[A2dY]，警報３(A3)動作遅延タイマ設定[A3dY] の選択項目が追加になりました。
選択方法は以下の通りです。

[▲]＋[▼]＋[MODE]を約３秒間押すと，補助機能設定モード２の設定項目になります。

スケーリング上限設定 [SCLH]

↓ MODE

スケーリング下限設定 [SCLL]

⋮ MODE

警報３(A3)動作選択 [AL3F]

↓ MODE

警報１(A1)動作励磁／非励磁選択 [A1LM]
・警報１(A1)動作選択で，“ 動作なし ”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・励　磁：noM，非励磁：rEV
・工場出荷時：励　磁：noM

↓ MODE

警報２(A2)動作励磁／非励磁選択 [A2LM]
・[オプション：A2]を付加している場合，または警報２(A2)動作選択で，“ 動作なし ”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・選択項目，工場出荷時の値は，警報１(A1)動作励磁／非励磁選択と同じです。

↓ MODE

警報３(A3)動作励磁／非励磁選択 [A3LM]
・[オプション：A3]を付加している場合，または警報３(A3)動作選択で，“ 動作なし ”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・選択項目，工場出荷時の値は，警報１(A1)動作励磁／非励磁選択と同じです。

⋮ MODE

警報３(A3)動作すきま設定[A3HY]

↓ MODE

警報１(A1)動作遅延タイマ設定[A1dY]
・警報１(A1)の動作遅延時間を設定します。
入力が，警報出力範囲に入ってから設定時間を経過すると，警報出力が作動します。
・警報１(A1)動作選択で，“動作なし”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・設定範囲：0～9999 秒
・工場出荷時：0 秒

↓ MODE

警報２(A2)動作遅延タイマ設定[A2dY]
・警報２(A2)の動作遅延時間を設定します。
・[オプション：A2]を付加している場合，または警報２(A2)動作選択で，“動作なし”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・選択項目，工場出荷時の値は，警報１(A1)動作遅延タイマ設定と同じです。

↓ MODE

警報３(A3)動作遅延タイマ設定[A3dY]
・警報３(A3)の動作遅延時間を設定します。
・[オプション：A3]を付加している場合，または警報３(A3)動作選択で，“動作なし”以外を選択した場合，この設定項目は表示されます。
・選択項目，工場出荷時の値は，警報１(A1)動作遅延タイマ設定と同じです。

⋮ MODE

伝送出力下限設定[TrLL]

↓ MODE

ＰＶ／ＳＶ表示モード